

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 住めば住むほど好きになる家

グループの名称 好きになる家委員会

直近採択グループ番号 04-0287-0461

(グループ代表者)

代表者名 後藤 晋 代表者印

代表者所属先 株式会社Shin空間

代表者所在地 愛知県名古屋市天白区植田山4-414

代表者電話番号 052-861-0150

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社吉川商会

事務局担当者名 吉川 雅文 印

事務局郵便番号 452-0021

事務局所在地 愛知県清須市西枇杷島町古城2-14-2

事務局電話番号 052-501-5611

事務局FAX 052-502-1003

事務局担当者E-mail masafumi@yoshikawas.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	住めば住むほど好きになる家
2. グループの名称(必須)	好きになる家委員会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0287-0461
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	愛知県・岐阜県・三重県・静岡県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	後藤 晋
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社Shin空間
8. グループ代表者所在地(必須)	愛知県名古屋市中北区植田山4-414
9. グループ代表者電話番号(必須)	052-861-0150
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社吉川商会
11. グループ事務局担当者名(必須)	吉川 雅文
12. グループ事務局郵便番号(必須)	452-0021
13. グループ事務局所在地(必須)	愛知県清須市西枇杷島町古城2-14-2
14. グループ事務局電話番号(必須)	052-501-5611
15. グループ事務局FAX番号(必須)	052-502-1003
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	masafumi@yoshikawas.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	7	国外産(米松など)の合法木材使用の場合において原木業者が含まない場合があります。
II. 製材・集材製造・合板製造	12	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	12	
IV. プレカット	7	
V. 設計	10	
VI. 施工	16	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	あいち認証材	愛知県	愛知県産材認証機構	1	国内
	愛知県産材	愛知県	愛知県産材認証機構	1	国内
	岐阜県産材	岐阜県	岐阜証明材推進制度	1	国内
	岐阜県産材	岐阜県	ぎふ性能表示材工場認定	1	国内
	広島県産材	広島県	広島県産材産地証明制度	1	国内
	三重の木認証	三重県	三重の木認証制度	1	国内
紀州材	和歌山県	紀州材認証システム	1	国内	
岡山県産材	岡山県	おかやまの木家づくり推進事業	1	国内	

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		2	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸	
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		1	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸	
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		6	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸	
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		3	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸	
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		2	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸	
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		1	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸	
高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸		
	申請が未確定(上限100万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸		
	申請が未確定(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		5	戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸		
	申請が未確定(上限165万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		2	戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸		
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	15棟				
			1633㎡				
		申請が未確定	22棟				
			2396㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	配分は下記の流れにて行うこととします。 補助金活用未経験事業者 活用物件確定時に事務局に活用申請(応募順) 各様申請物件による抽選(高い性能値・未経験など)						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	4戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4戸	
補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸	
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 住めば住むほど好きになる家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 好きになる家委員会	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0287-0461	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	●愛知県全域は年間を通じて温暖であり夏は多湿な地域です。このような地域においても年間を通じて快適・安心な家を建てます。 ①平成28年改正省エネ基準の標準対応(外皮性能〜一次エネルギー消費の削減)※地域区分の基準値をクリアする。 ②気密性能の意識(気密測定義務付け 目標値C値 1.0以下)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	●建物の外周部の耐力壁は断熱材と構造用面材の一体化パネルを採用する。(耐震性・断熱性・気密性の確保) ●壁内結露の対策として外壁通気工法を標準とする。(耐久性の確保)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	●建設地の近隣環境と調和をさせる。 ●地域の風配図をもとにできる限り自然の光・風を取り入れるための設計を実施する。(パッシブデザイン)	◎
④①～③の背景	●住宅の理想としては年間を通じて快適で安心であり健康に日々を暮らせることだと考えます。そんな理想の家の実現をめざし「住めば住むほど好きになる家」を立ち上げました。愛知県は日本の中でも温厚多湿であり快適に暮らすための対策。来たるべき地震に対する安全対策。季節に応じた温度差によるヒートショックなどの健康に対する対策が求められます。そしてその対策と合わせて省エネルギー住宅で実現を進めて行く必要がある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	●節水に対する配慮(節水型トイレの標準採用)	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ①建物外周部には構造用面材を標準とする。(耐力壁の確保) ②断熱材として発砲ポリウレタン製を標準とする。(気密・断熱性能の確保) ※①+②を一体化したパネルにて施工 → 一体パネルの規格パネルを推奨する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外周部の構造用面材+断熱材 一体パネルの採用。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 性能面の確保として、断熱性能(UA値・ ηa 値)の地域別基準値のクリア。 気密性能の確保として、C値 1.0以下。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各施工業者ごとに調達を原則としますので統一を図ることは難しいですが、安定供給をはかるため生産体制の状況を事務局で把握して各社への資材の欠品など供給をスムーズに行う情報は発信していく。	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各事業者の安定供給をはかるための情報発信のみ。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 必用都度になりますが、定例で定例会・勉強会の開催をしていますので必要な場合解説します。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場の進捗確認と情報の収集、そして情報発信。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高度省エネ型住宅仕様を基本とします。(低炭素認定住宅仕様) ①構造用面材とウレタン製の一体化パネルでの施工を標準とする。 ②全棟気密検査の実施。(C値 1.0以下) ③性能報告書(施主様向け)を発行し提出する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による現場検査の実施。(第三者機関の検査項目による) 瑕疵保証保険の加入を付帯とする。 気密検査の実施。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工業者にて見積・積算を実施しており販売価格・仕入れの統一は難しいが、グループでのモデルプランにて積算の実施したうえで市場価格との格差が無いように検討していきます。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的なユーザー向けセミナーを実施してゼロエネルギー住宅普及のための啓蒙活動を実施します。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	設定なし	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 住めば住むほど好きになる家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 好きになる家委員会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0287-0461	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●長期メンテナンス計画書を作成していく。 ●第三者機関の住宅履歴会社を活用しメンテナンスと履歴を管理していく(選択項目)	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●各事業者での会社の体制に応じて活用。(事務局から紹介)	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ●各事業者でのデータ管理をしております。(必要時に公開) ●第三者機関の履歴管理ではネットにて情報を閲覧することを推奨(選択項目)	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ※30年間の定期点検を実施していく(3ヶ月・6ヶ月・1年・5年・10年・20年・30年を原則) ●各事業者での点検フォーマット(項目)にて対応 ●第三者機関のメンテナンスサポートでは必須項目のメンテナンスフォーマットにて対応	◎
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ●各事業者にて対応 ●第三者機関の活用は補修ルールに基づきます	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ●各事業者にて対応 ●第三者機関の活用は確認検査ルールに基づきます	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の「住まいのお手入れガイド」にて定例会・勉強会にて必要都度実施しています。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お手入れ・お掃除などの情報を不定期ですが情報発信しお届けします。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工事業者にて対応実施。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 定期定例会・勉強会にて必要都度に設置を致します。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工事業者にて対応実施。	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の地域エリアの代表が中心になり引き継ぎ先会員を選別して業務を引き継ぎます。	◎
②	過去の取組内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関を講師に勉強会の実施	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	設定なし

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 月次の定例会・勉強会において施工研修・施工事例紹介を行う。 ※会員が施工した現場にて視察勉強会の実施。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ代表または、地域のリーダー会員にて現場視察を実施し管理をする。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場視察での指摘事項による修正を確認または写真にて確認wします。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループでの長期目標としてLCCM住宅を標準化していきます。 短期目標として認定低炭素住宅の標準仕様 ~2020年 長期目標としてゼロエネルギー住宅(ZEH) ~2030年	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会・勉強会にて必要都度技術・施工勉強会を実施してきます。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会・勉強会にて必要都度技術・施工勉強会を実施してきます。 第三者機関の住宅関連団体主催の勉強会に積極的に参加して学んだことを横展開をします。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 5	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 5	◎	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会開催情報の早期告知とグループ内での参加要請を実施します。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅関連団体主催の勉強会に参加し報告会を実施しグループとして導入を検討していきます。	○
② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ユーザー様にとって性能向上・快適性の向上が図れるための技術は推進していきます。	○	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	設定なし

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 住めば住むほど好きになる家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 好きになる家委員会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0287-0461	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】

a	地域材利用に関する	①合法木材証明制度の合法木材・各地域の産地が証明された木材 ②合法木材証明制度の合法が証明された国内産・国外産の合法木材	◎、○ 記入欄
①	共通ルール(必須)		◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	◆一部施工店にてプレカット会社を使用しない場合があります。(全て手刻み) ◆一部流通を通さず地域材を調達を行う場合があります。 ◆原産国が海外の木材については、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者、製材会社等の特定が困難な場合が多々ある。この為、下流の流れの出荷者による証明によって代替する。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の在庫量についてはグループ内での情報を事務局で取りまとめ情報発信をします。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の価格情報についてはグループ内での情報を事務局で取りまとめ情報発信をします。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 1棟あたり使用量は平均5㎡となる予定。	○
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 80 枚 ※グループ 自主目標	○
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 120 坪 ※グループ 自主目標	○
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 30 枚 ※グループ 自主目標	○
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 30 枚 ※グループ 自主目標	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ①-1~4を含めグループ内で推奨と素材活用をすすめていきます。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内で意匠の活用を推奨していきます。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外壁材は反射光・光沢材は極力さけます。(周辺環境への配慮) 設備機器(機器・配線)など道路面・公共空間には設置しない。または植栽で配慮。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外壁材は反射光・光沢材は極力さけます。(周辺環境への配慮) 設備機器(機器・配線)など道路面・公共空間には設置しない。または植栽で配慮。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外壁材は反射光・光沢材は極力さけます。(周辺環境への配慮) 設備機器(機器・配線)など道路面・公共空間には設置しない。または植栽で配慮。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和テイストの推奨とする。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	設定なし	

カ. その他

【平成29年度対応方針】

	設定なし	◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組	設定なし	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 住めば住むほど好きになる家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 好きになる家委員会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0287-0461	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

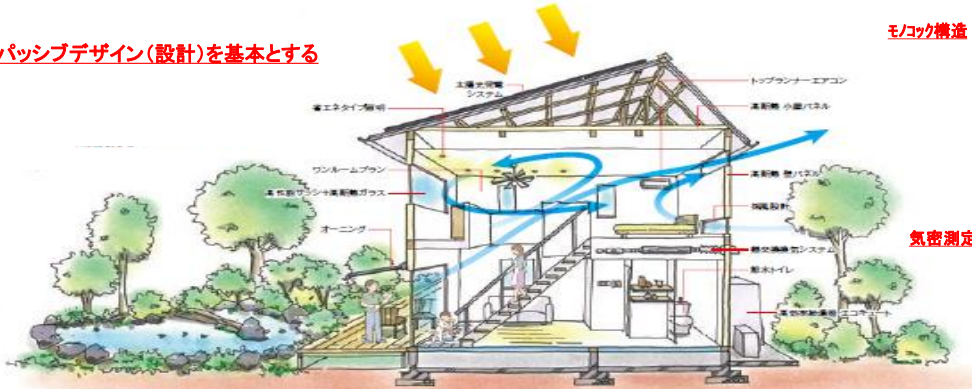
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※高度省エネ型(ゼロエネルギー住宅)は、**全棟BELS認証**で実施します。

住めば住むほど好きになる家 概要図

パッシブデザイン(設計)を基本とする



モノコック構造



気密測定



住めば住むほど好きになる家 (5地域・6地域)

	基準値	地域	認定低炭素住宅 (目標値)	ゼロ 必達値	ゼロ・エネルギー住宅 (目標)
外皮熱貫流率	UA値 0.87	5地域	UA値 0.65	0.6	UA値 0.56
	UA値 0.87	6地域	UA値 0.65	0.6	UA値 0.56 (※ラングアブ仕様 0.5)
一次エネルギー消費量削減率	-	5地域	基準値 ▲10% 以上	-	全体削減率 100.0% 以上 太陽光を除く削減率 20.0%以上
	-	6地域		-	全体削減率 100.0% 以上 太陽光を除く削減率 22.0%以上

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。